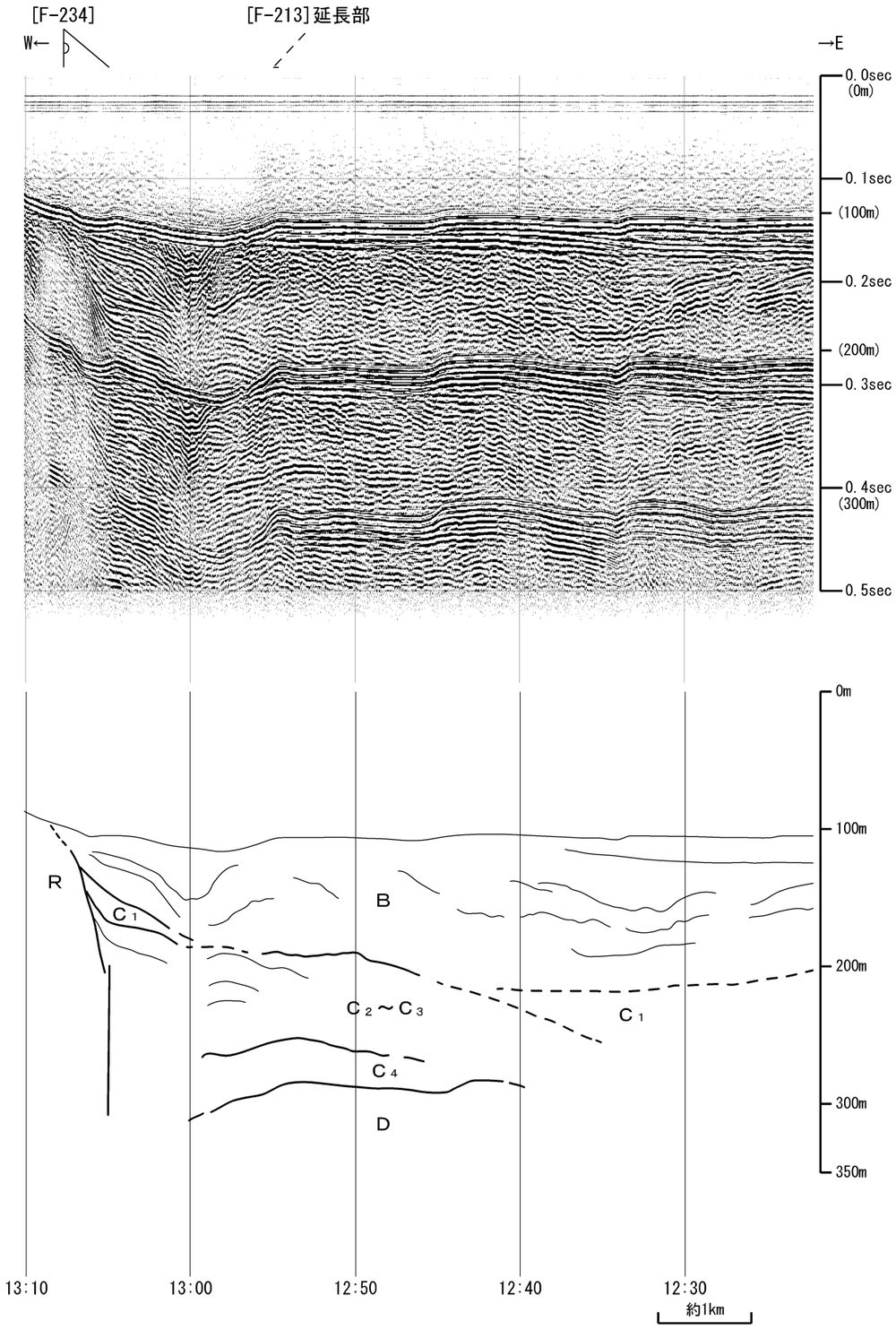
KF18
海保(2005)
スパーカー



音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀－福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

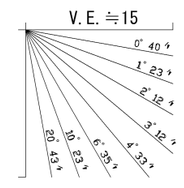
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

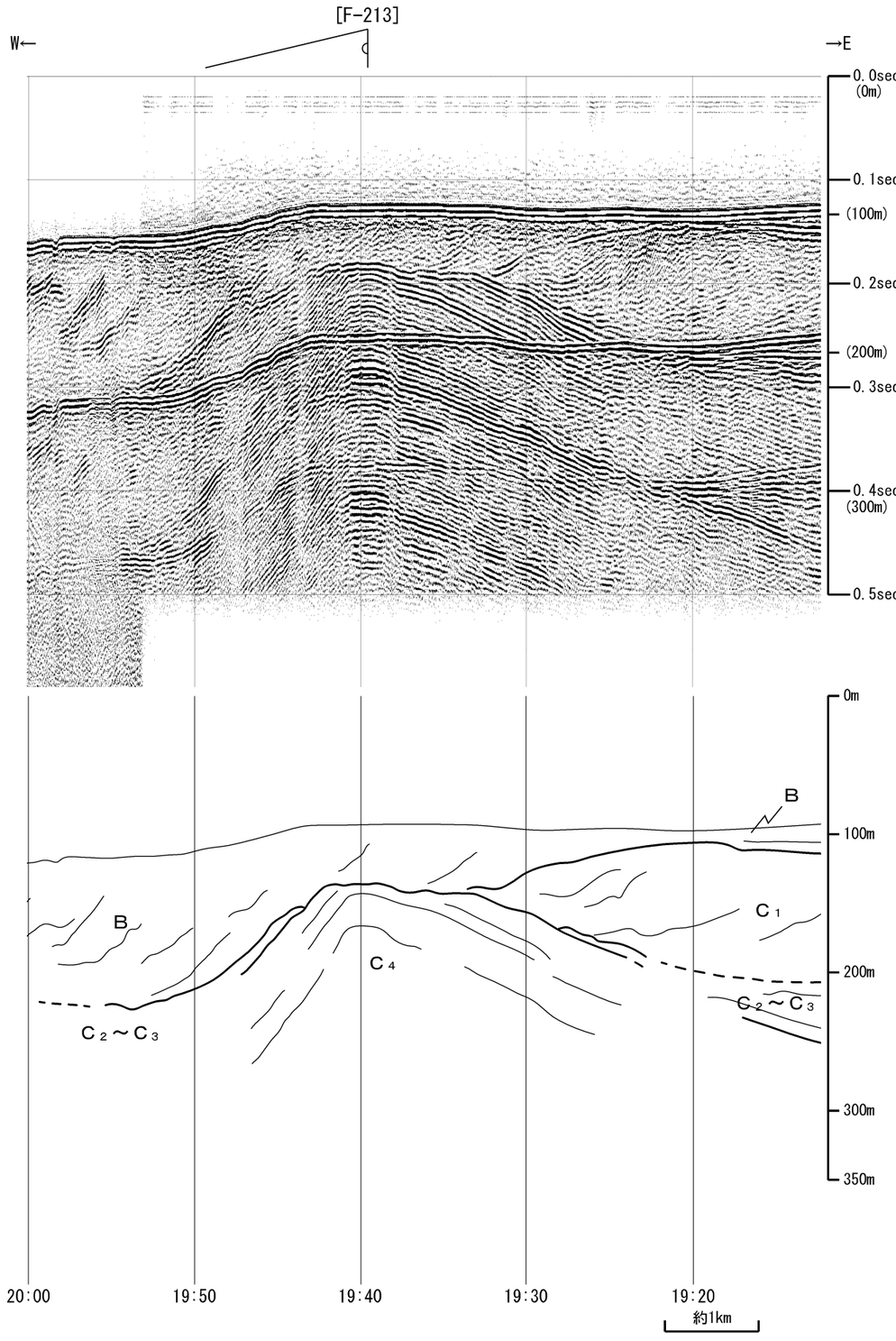


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(1)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF18）

KF22
海保(2005)
スパーカー



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

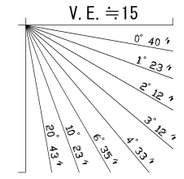
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

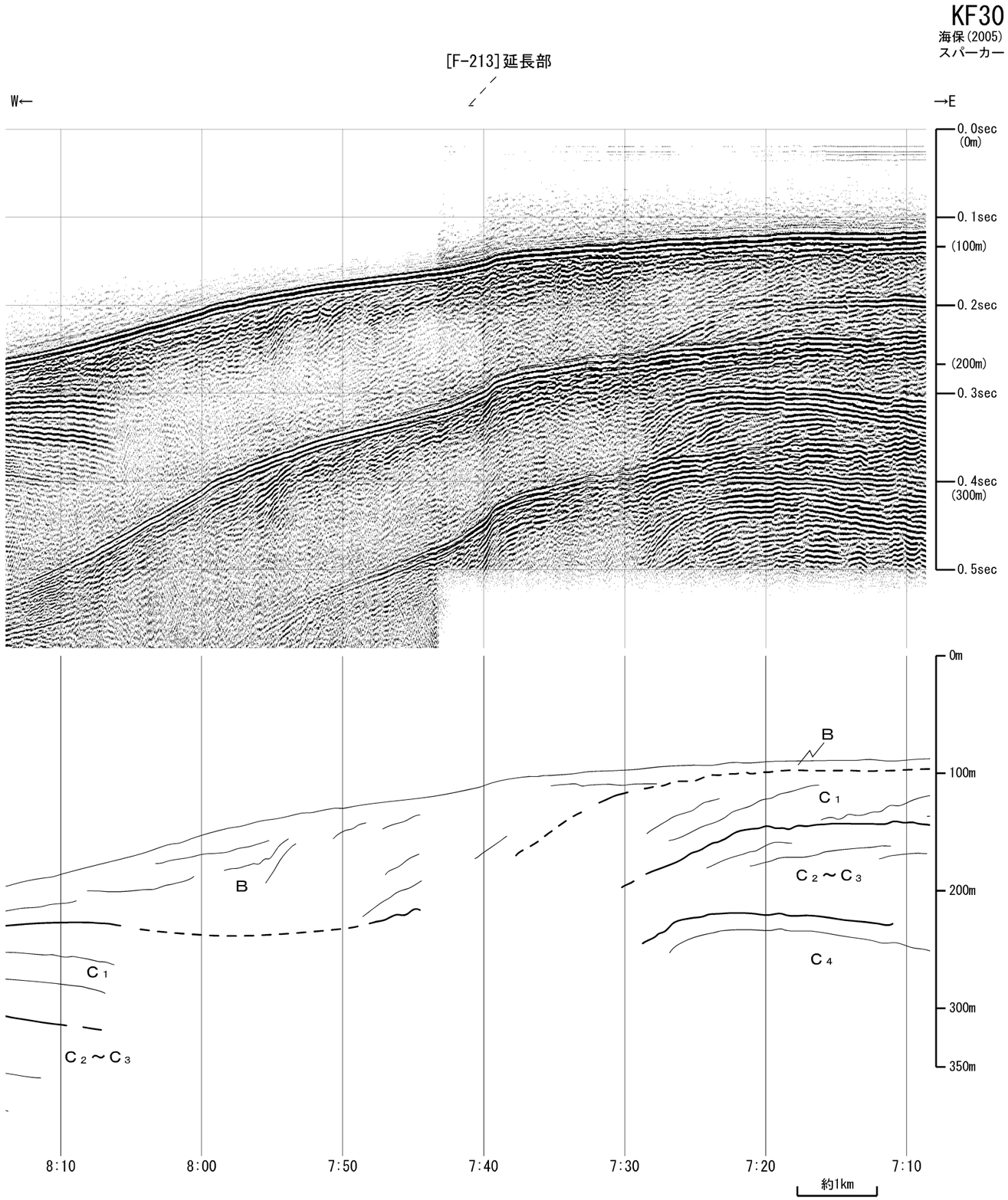
深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀－福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。

地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

第1.2.3.1.11図(2)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF22）

音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀－福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置

基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

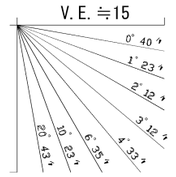
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

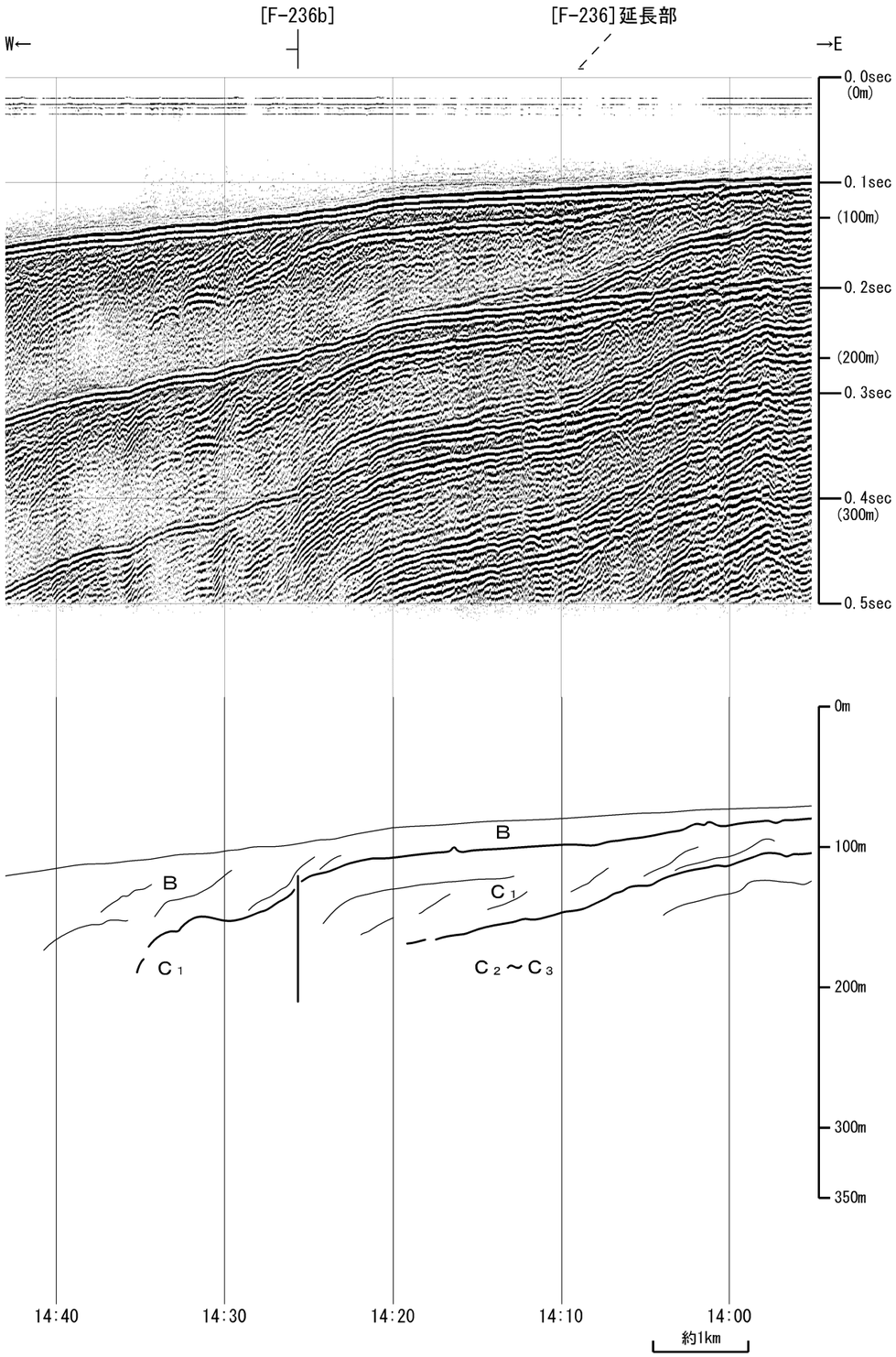


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(3)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF30）

KF34
海保(2005)
スパーカー



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

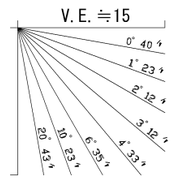
基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
基部の延長位置

音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀－福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

凡　例

A　A層　完新統
B　B層　上部更新統
C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統
D　D層　下部～上部鮮新統
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統
断層
推定断層
地層境界
推定地層境界

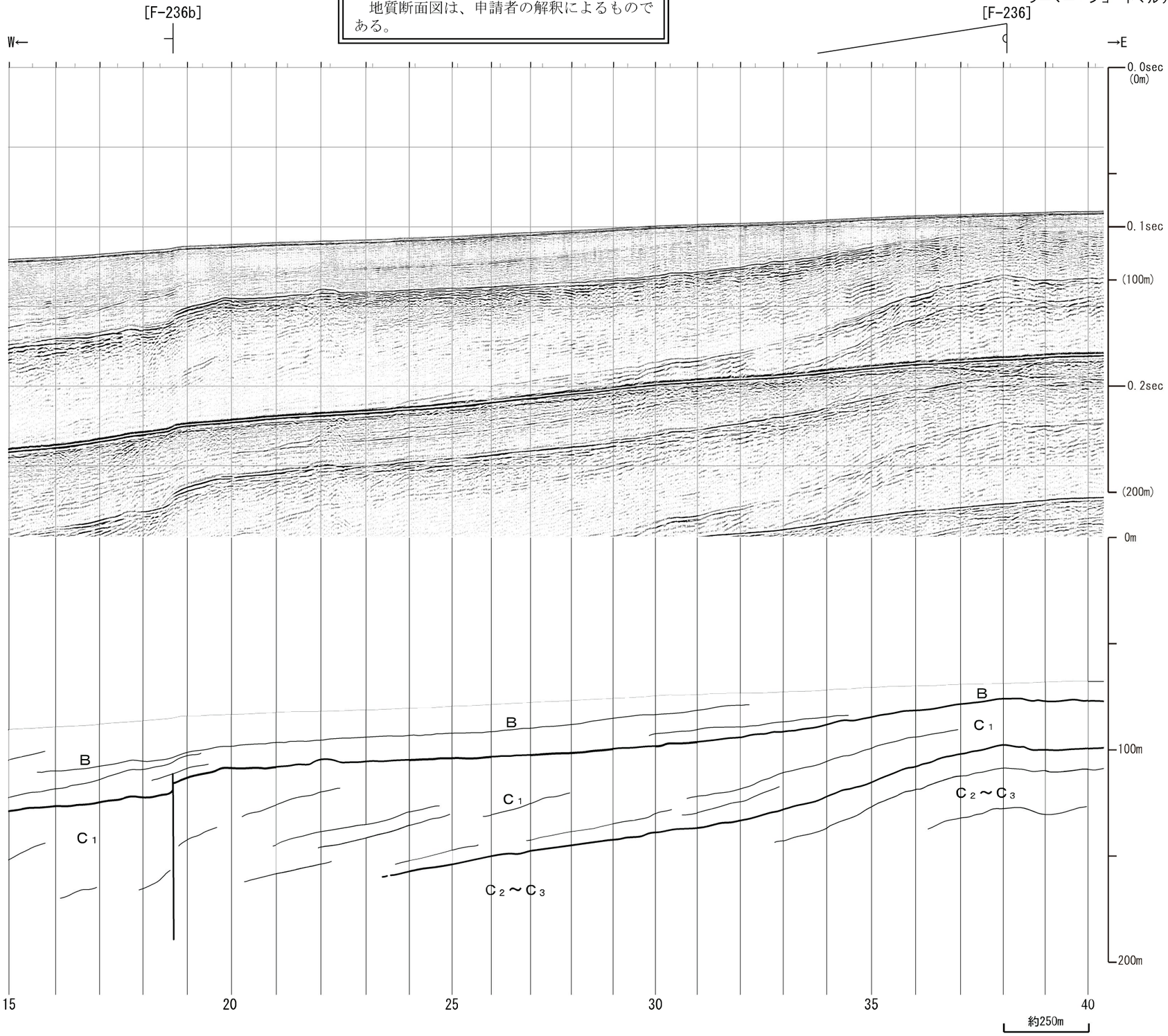


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(4)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF34）

音波探査記録は、杉山他(2013)の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

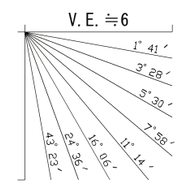


凡　例

[F-21]	断層及び断層番号
[F-2]	撓曲及び撓曲番号
基部／頂部	変形の及んでいる範囲
[F-2]延長部／基部の延長位置	断層または撓曲の延長位置

凡　例

A	A層　完新統
B	B層　上部更新統
C（C1, C2, C3, C4）	C層　最上部鮮新統～中部更新統
D	D層　下部～上部鮮新統
R	R層　先鮮新統～最下部鮮新統
	断層
	推定断層
	地層境界
	推定地層境界

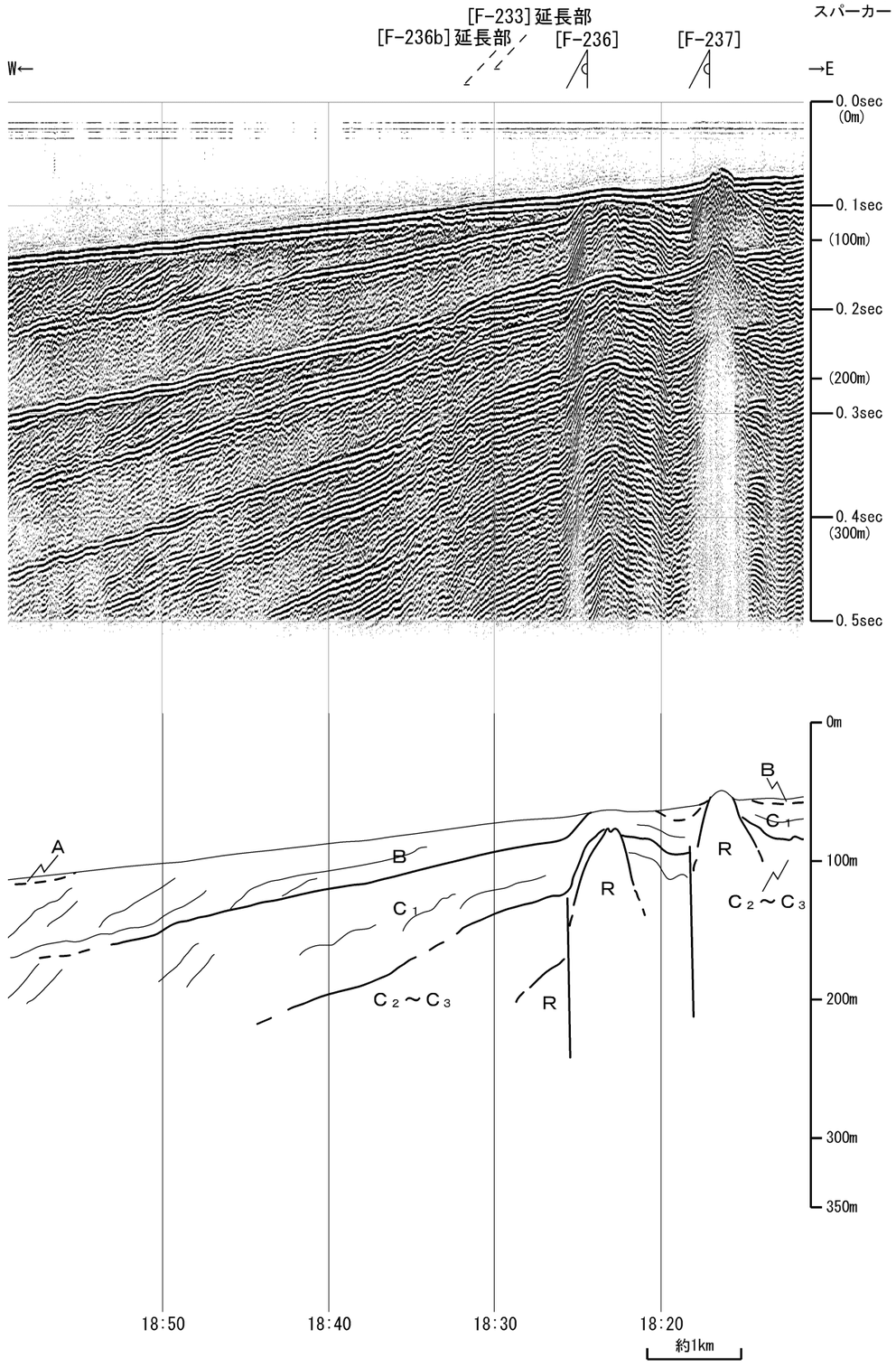


数字（角度）は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(5)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（G-36BM）

KF38
海保(2005)
スパーカー



音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀－福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

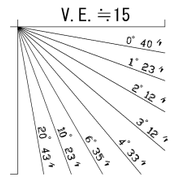
[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統
B　B層　上部更新統
C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統
D　D層　下部～上部鮮新統
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統
断層
推定断層
地層境界
推定地層境界



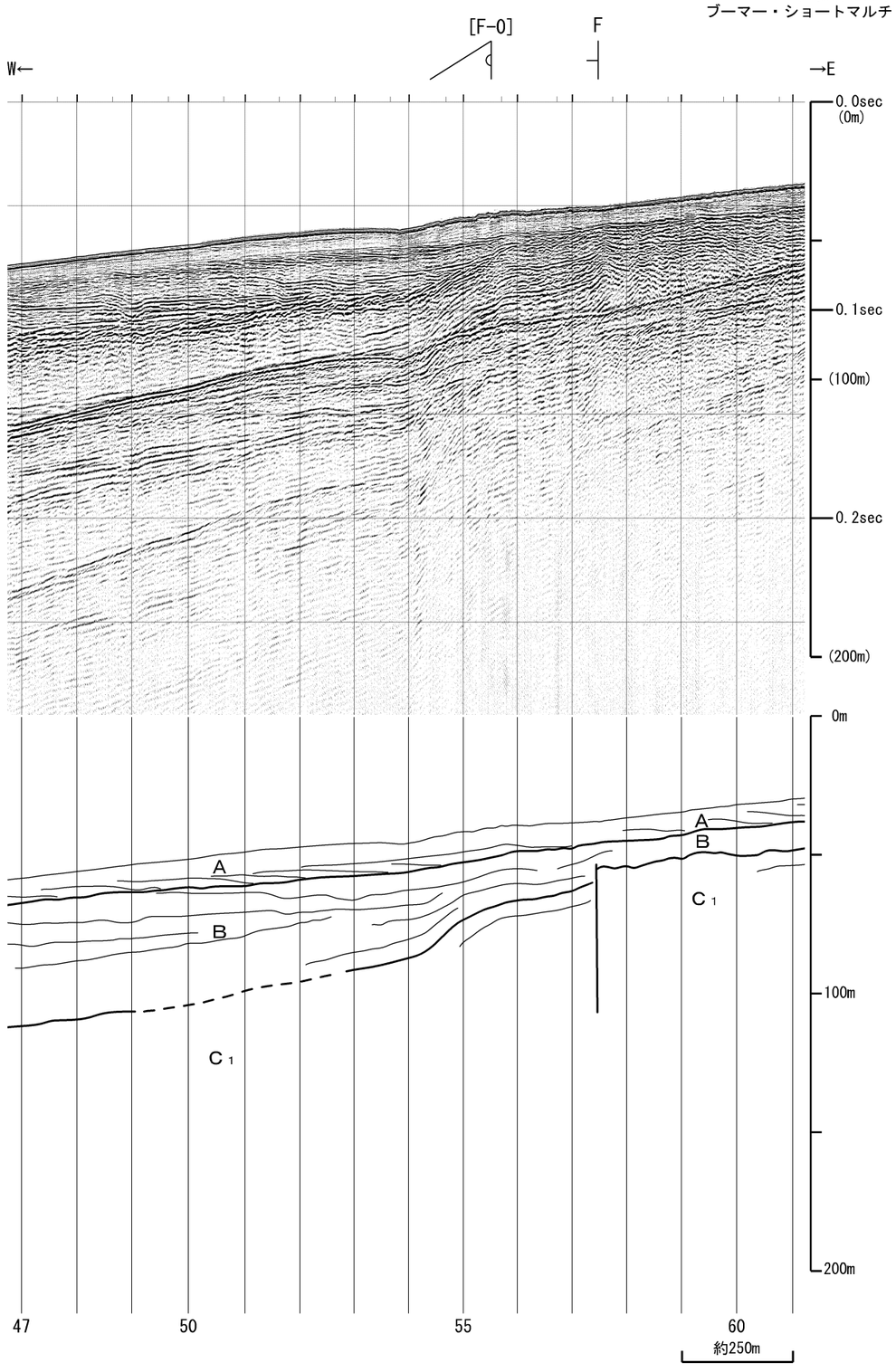
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(6)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF38）

G-47BM

産総研(2013)
ブーマー・ショートマルチ



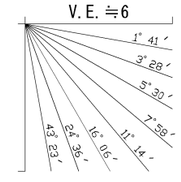
音波探査記録は、杉山他(2013)の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

凡　例

- [F-21] 断層及び断層番号
- [F-2] 撓曲及び撓曲番号
- 基部／頂部 変形の及んでいる範囲
- [F-2]延長部／基部の延長位置 断層または撓曲の延長位置

凡　例

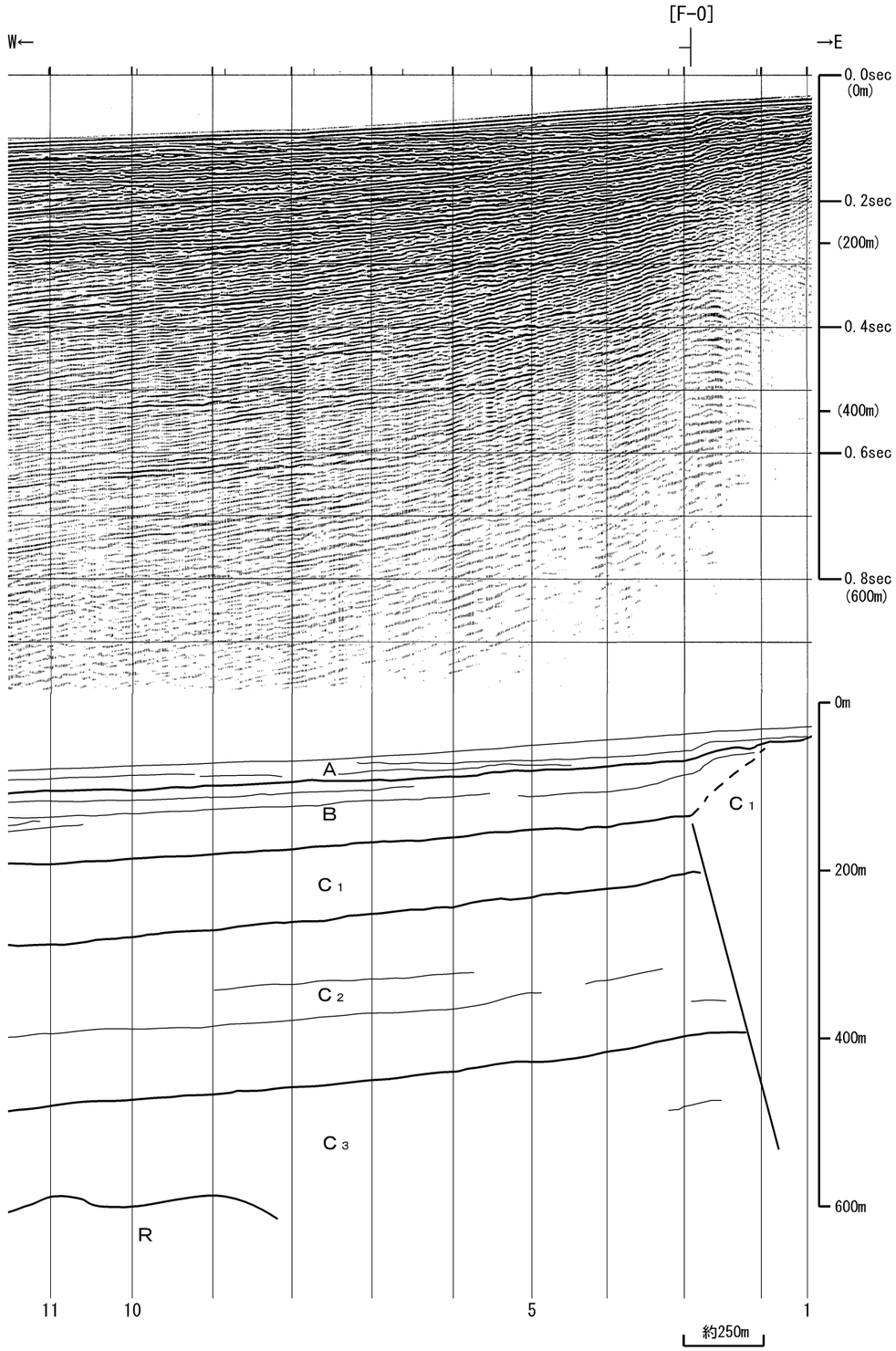
- A　A層　完新統
- B　B層　上部更新統
- C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統
- D　D層　下部～上部鮮新統
- R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統
- 断層
- 推定断層
- 地層境界
- 推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(7)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（G-47BM）



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

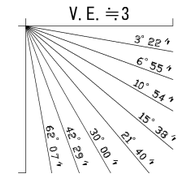
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

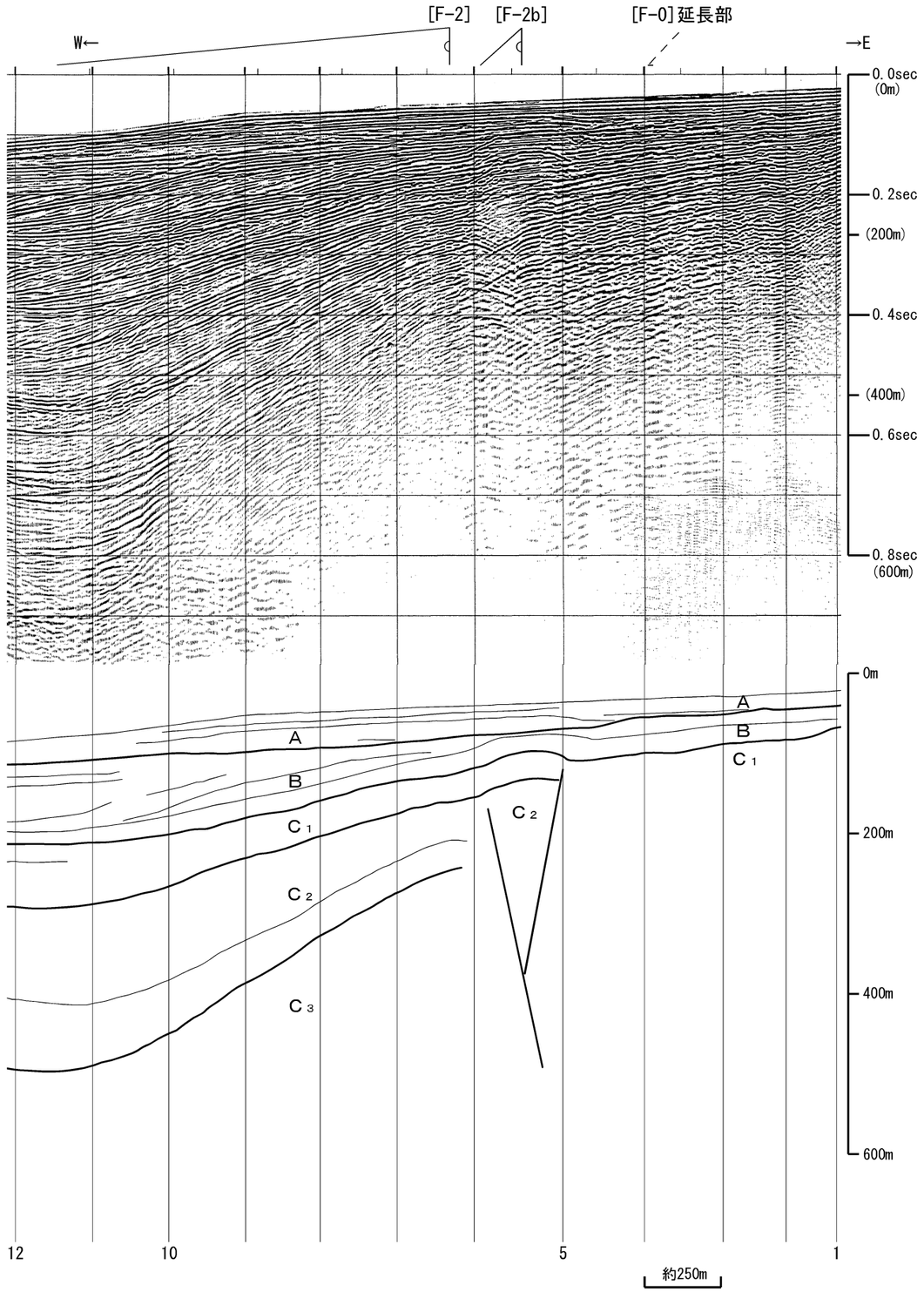
推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(8)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWS2）



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

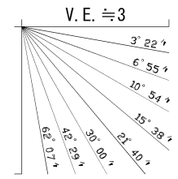
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

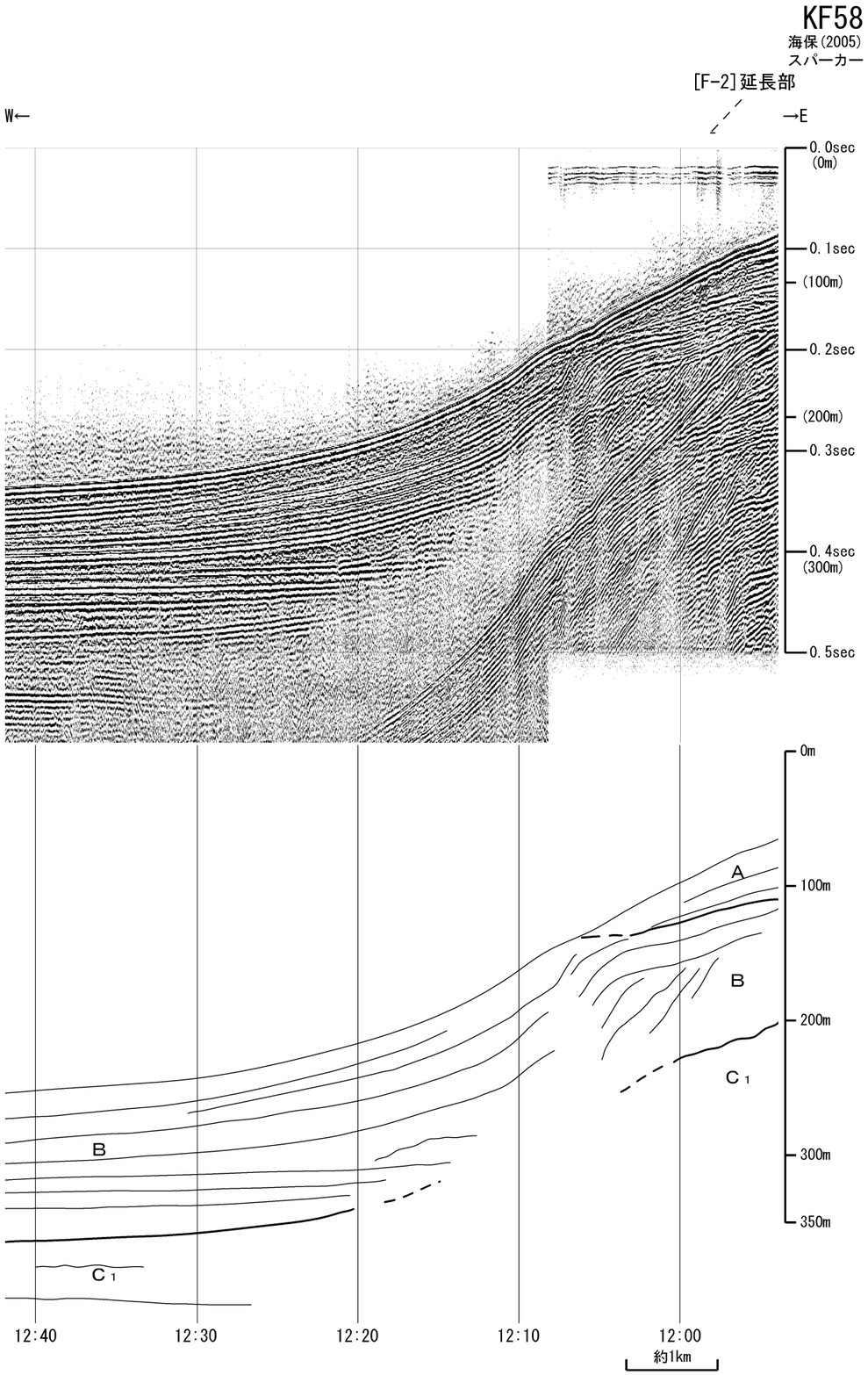


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(9)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWS5）

音波探査記録は、海上保安庁海洋情報部の沿岸海域海底活断層調査「加賀－福井沖」の原資料（データ）を出力したものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

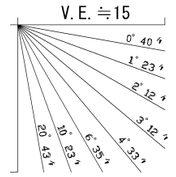
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

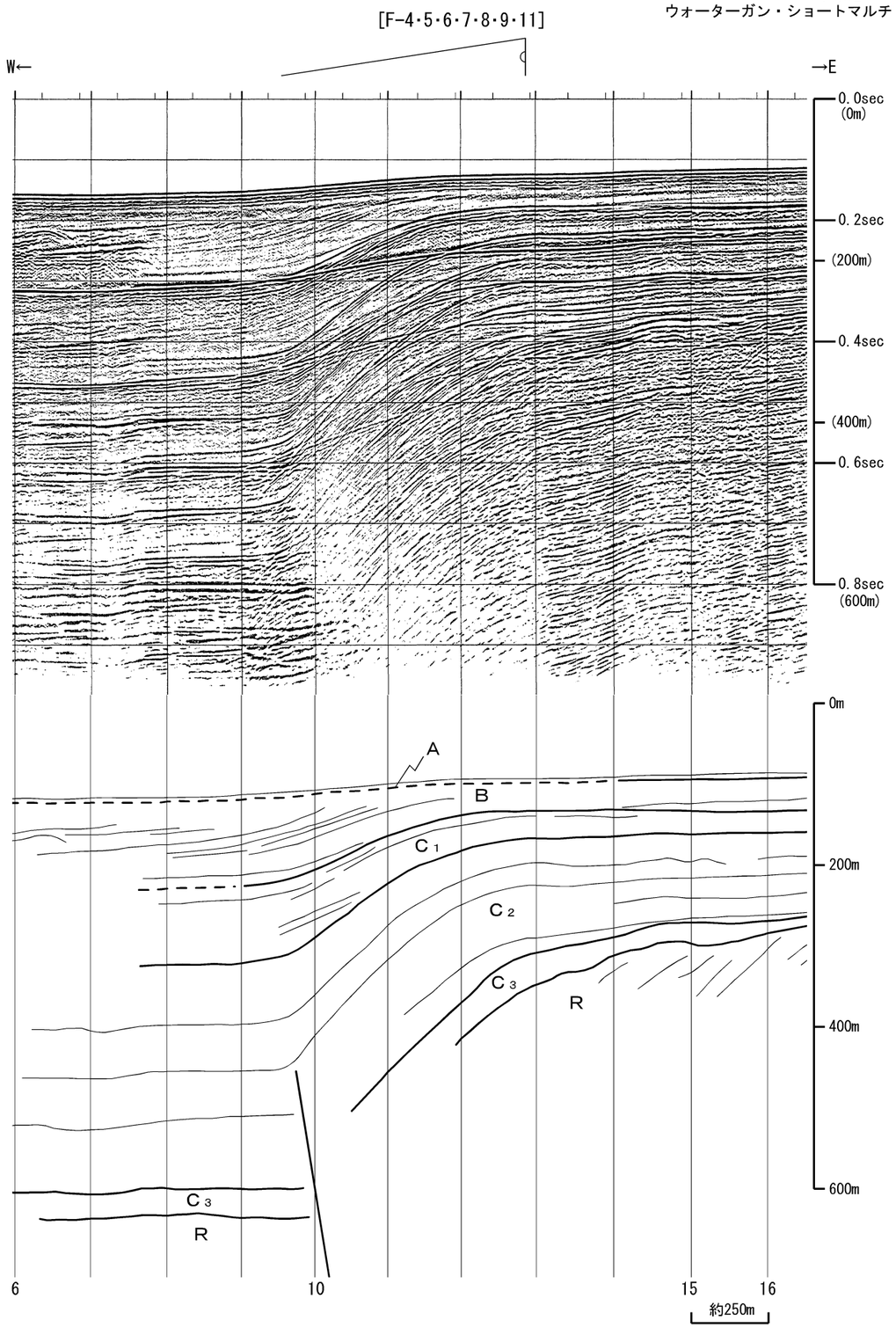


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(10)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（KF58）

NBWMS11.5
日本原電2005
ウォーターガン・ショートマルチ



凡　例

[F-21]　断層及び断層番号

[F-2]　撓曲及び撓曲番号

基部　頂部　変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部　断層又は撓曲の延長位置

基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

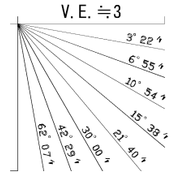
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

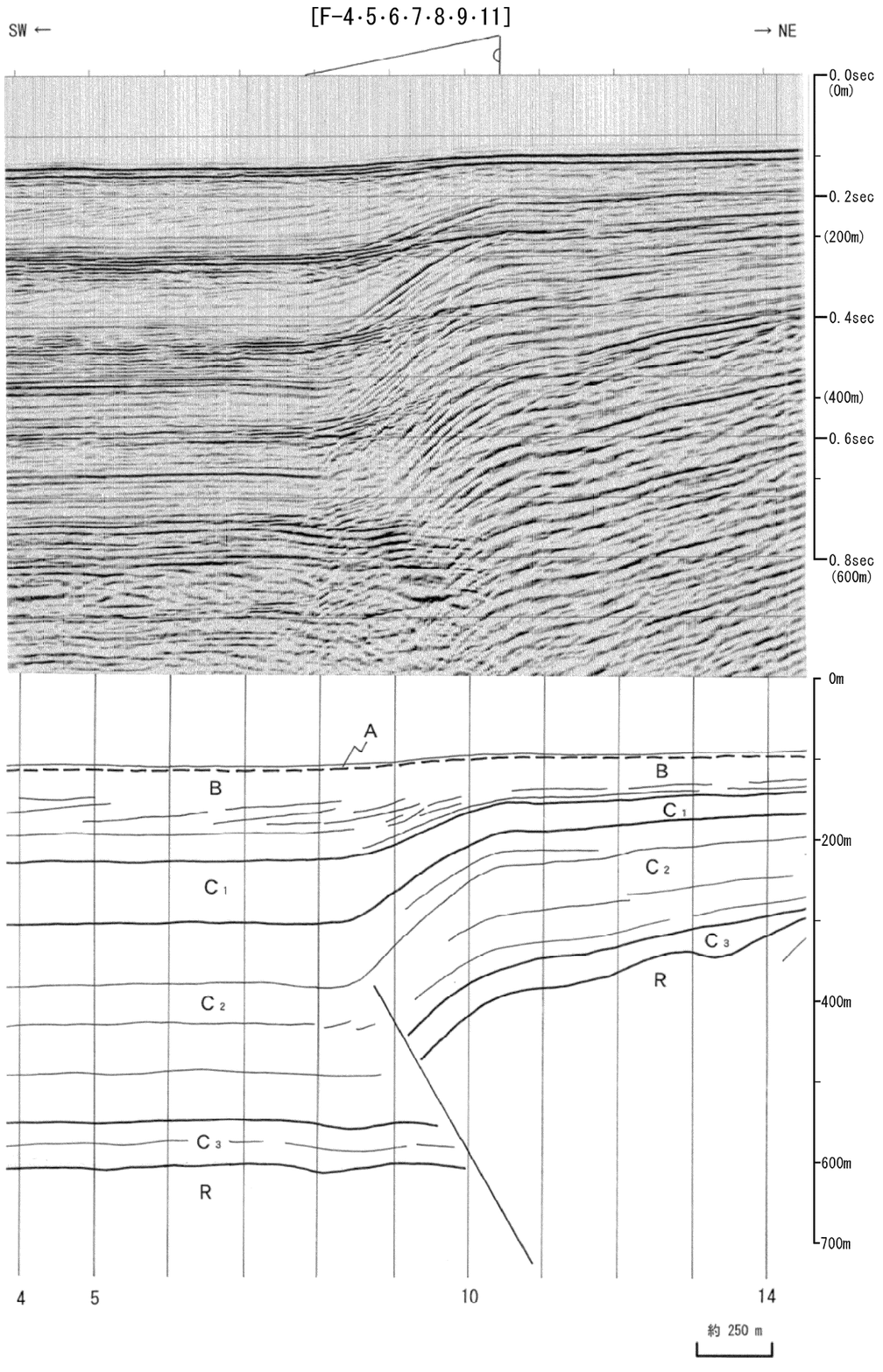


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(11)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWMS11.5）

NBWM12.3
日本原電2005
ウォーターガン・マルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

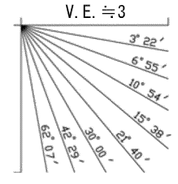
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

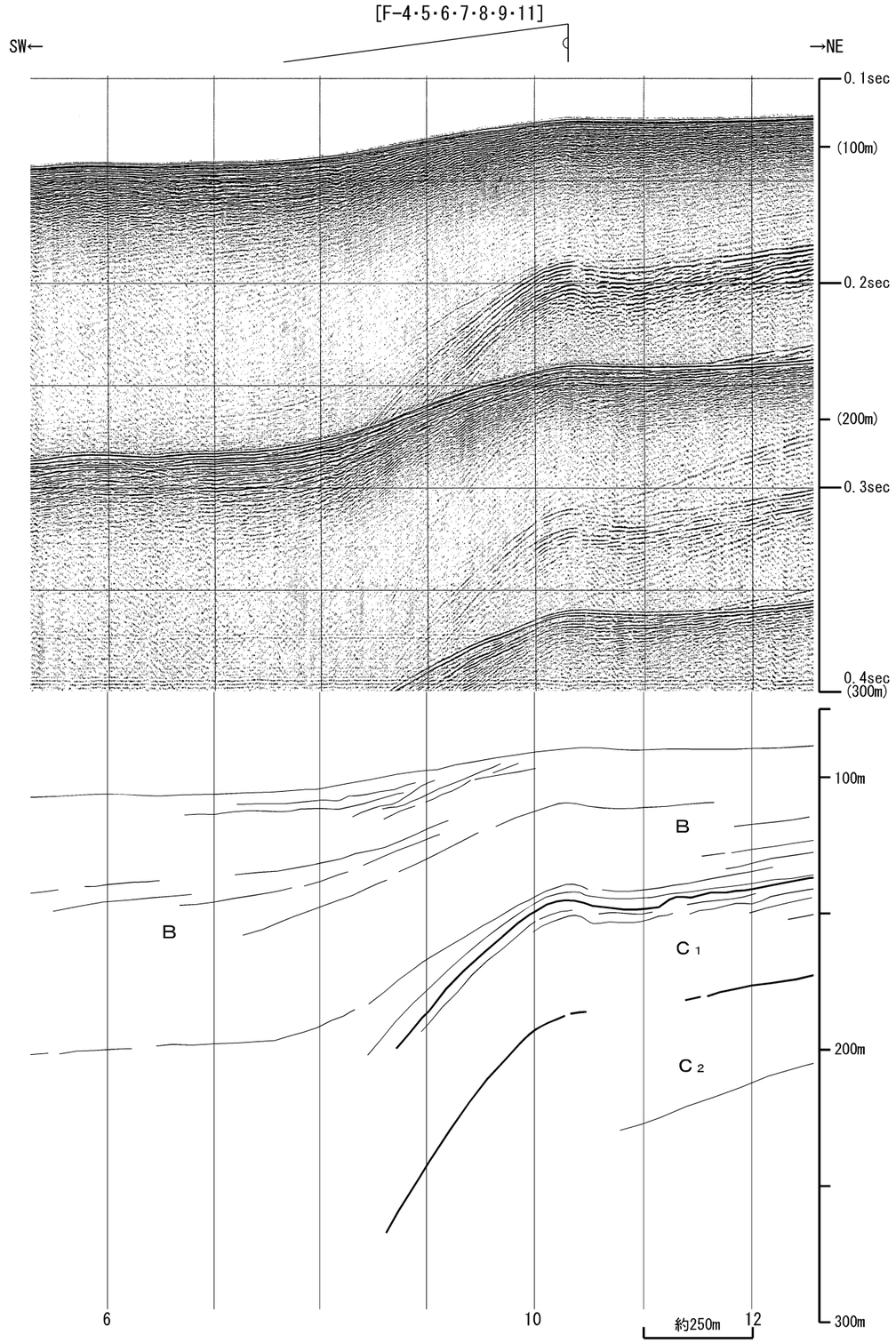


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(12)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWM12.3）

NBGM12.3
日本原電2005
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C（C1 C2 C3 C4）　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

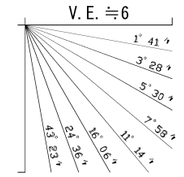
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



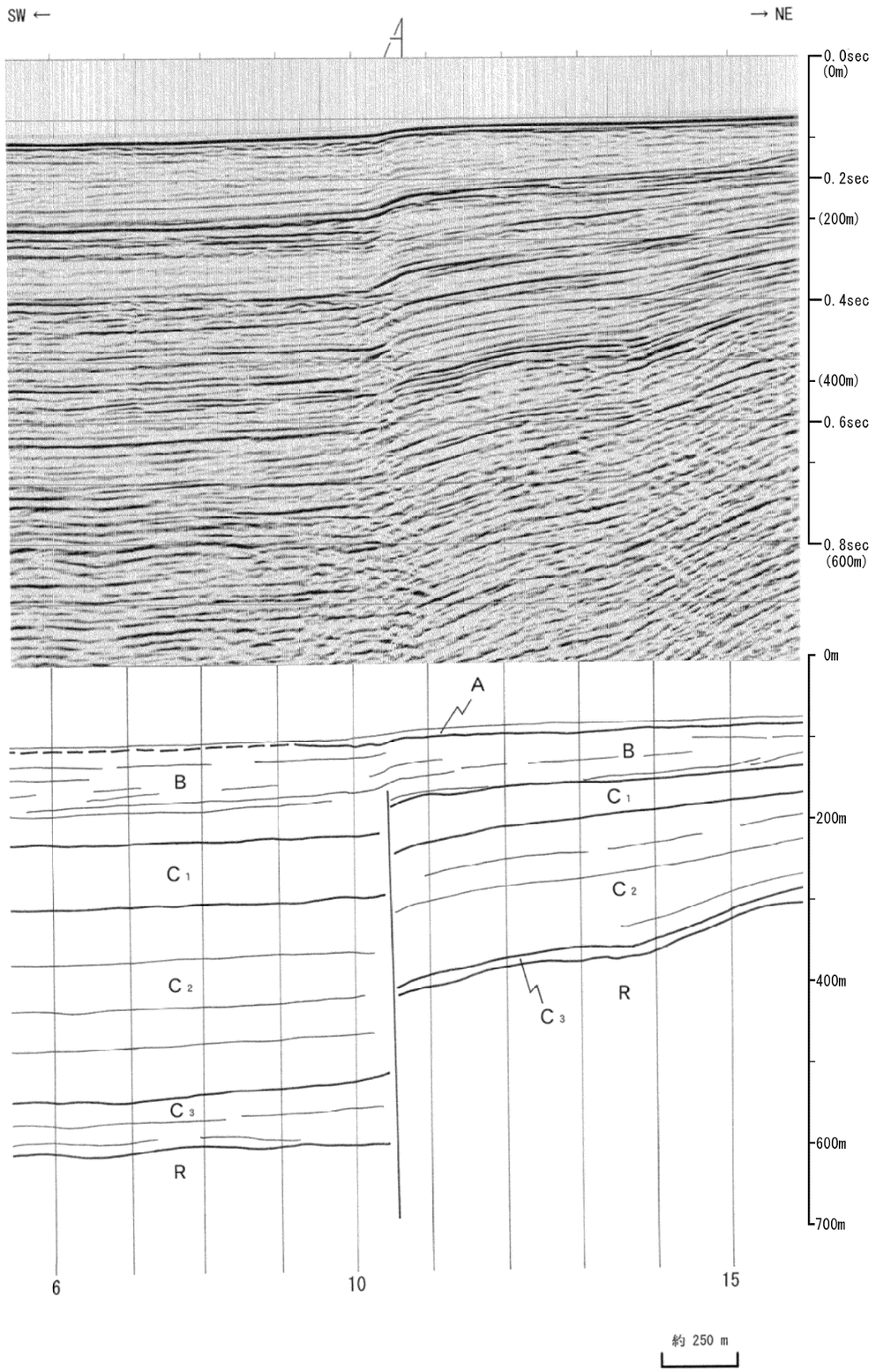
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(13)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBGM12.3）

NBWM13
日本原電2005
ウォーターガン・マルチ

[F-4·5·6·7·8·9·11]



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

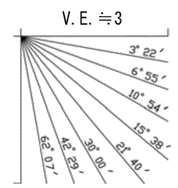
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

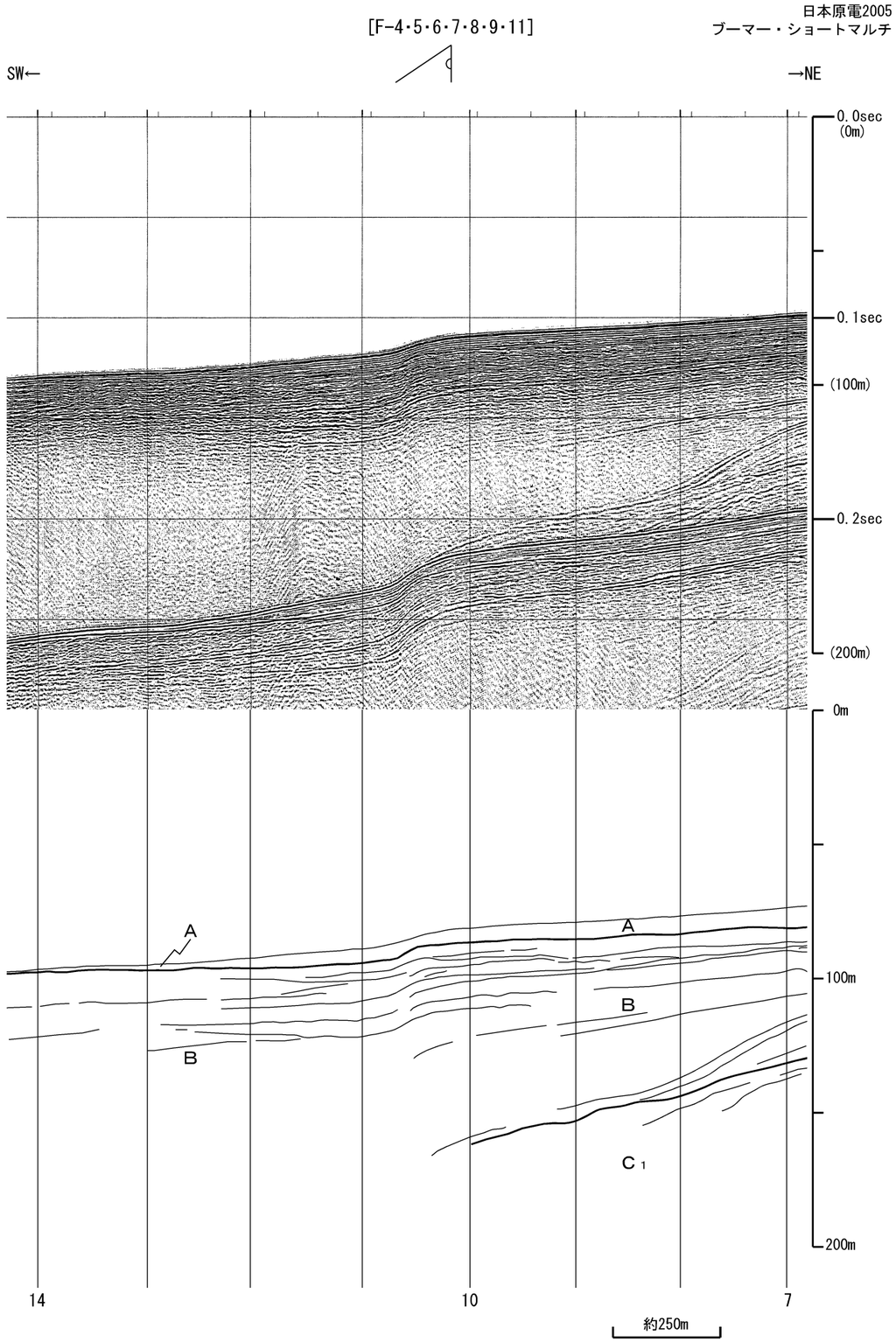


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(14)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWM13）

NBGM13.5
日本原電2005
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置

基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

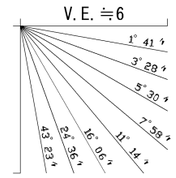
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

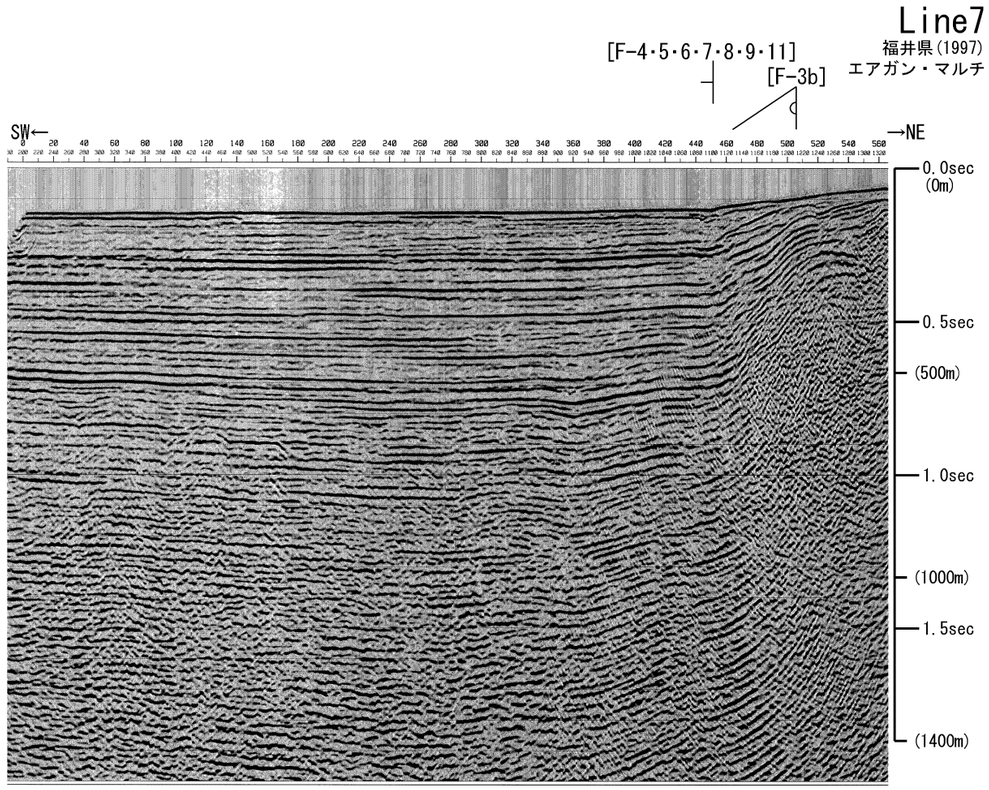


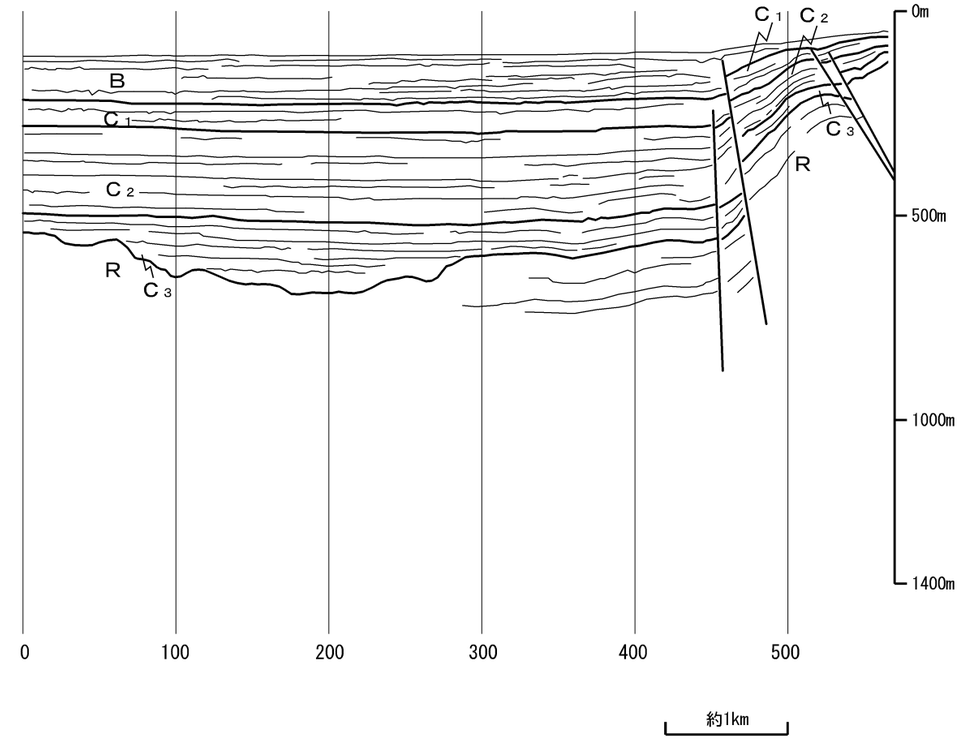
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(15)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBGM13.5）

音波探査記録は，福井県(1997)「柳ヶ瀬断層帯（柳ヶ瀬断層，山中断層，甲楽城断層）に関する調査成果報告書」の原資料である。
地質断面図は，申請者の解釈によるものである。





凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

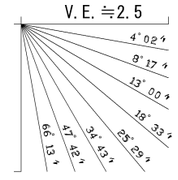
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



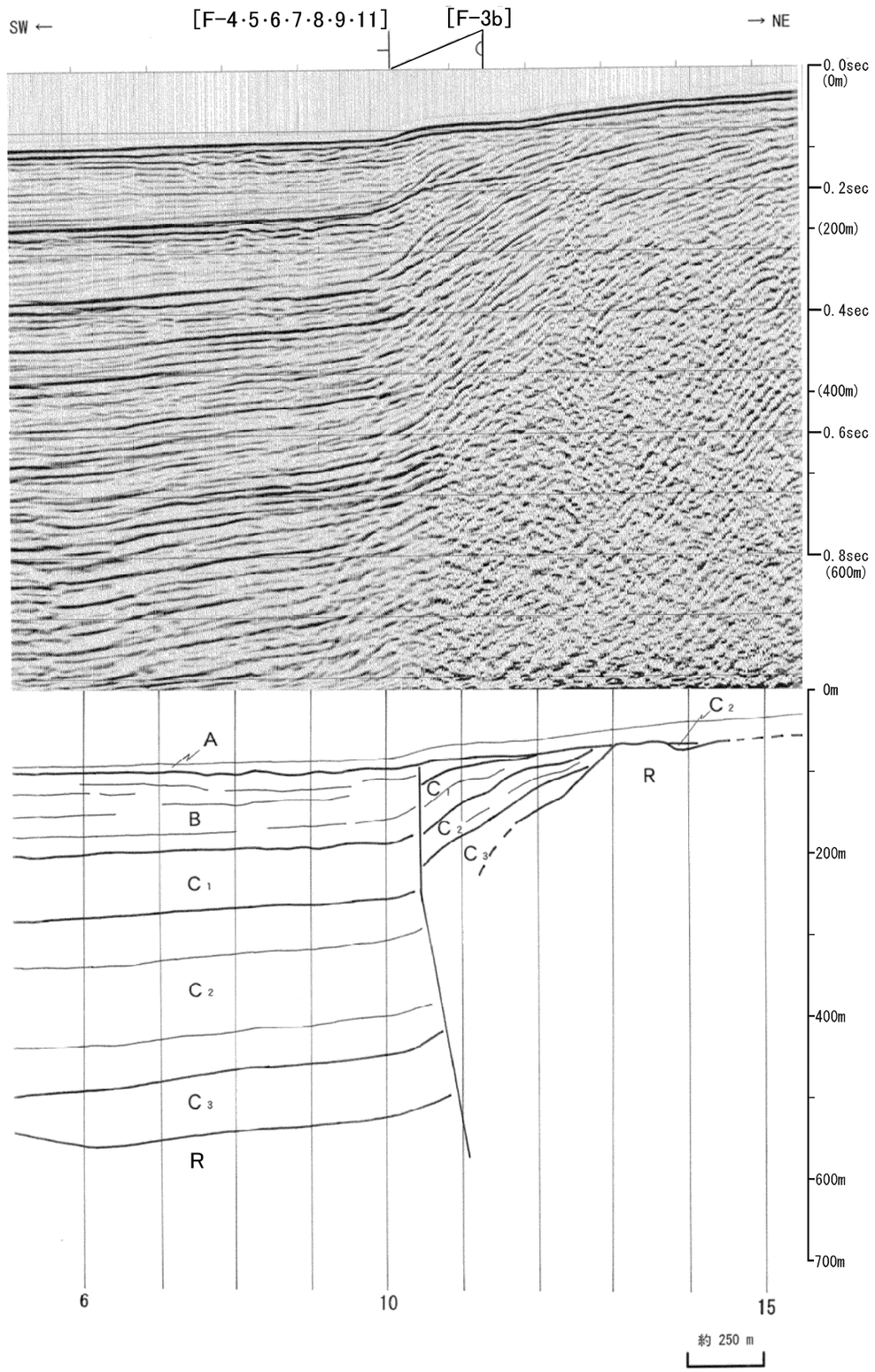
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(16)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（Line7）

NBWM14.5

日本原電2005
ウォーターガン・マルチ

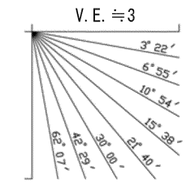


凡　例

[F-21]	断層及び断層番号
[F-2]	撓曲及び撓曲番号
基部 / 頂部	変形の及んでいる範囲
[F-2]延長部 / 基部の延長位置	断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A	A層　完新統
B	B層　上部更新統
C1 C2 C3 C4	C層　最上部鮮新統～中部更新統
D	D層　下部～上部鮮新統
R	R層　先鮮新統～最下部鮮新統
	断層
	推定断層
	地層境界
	推定地層境界

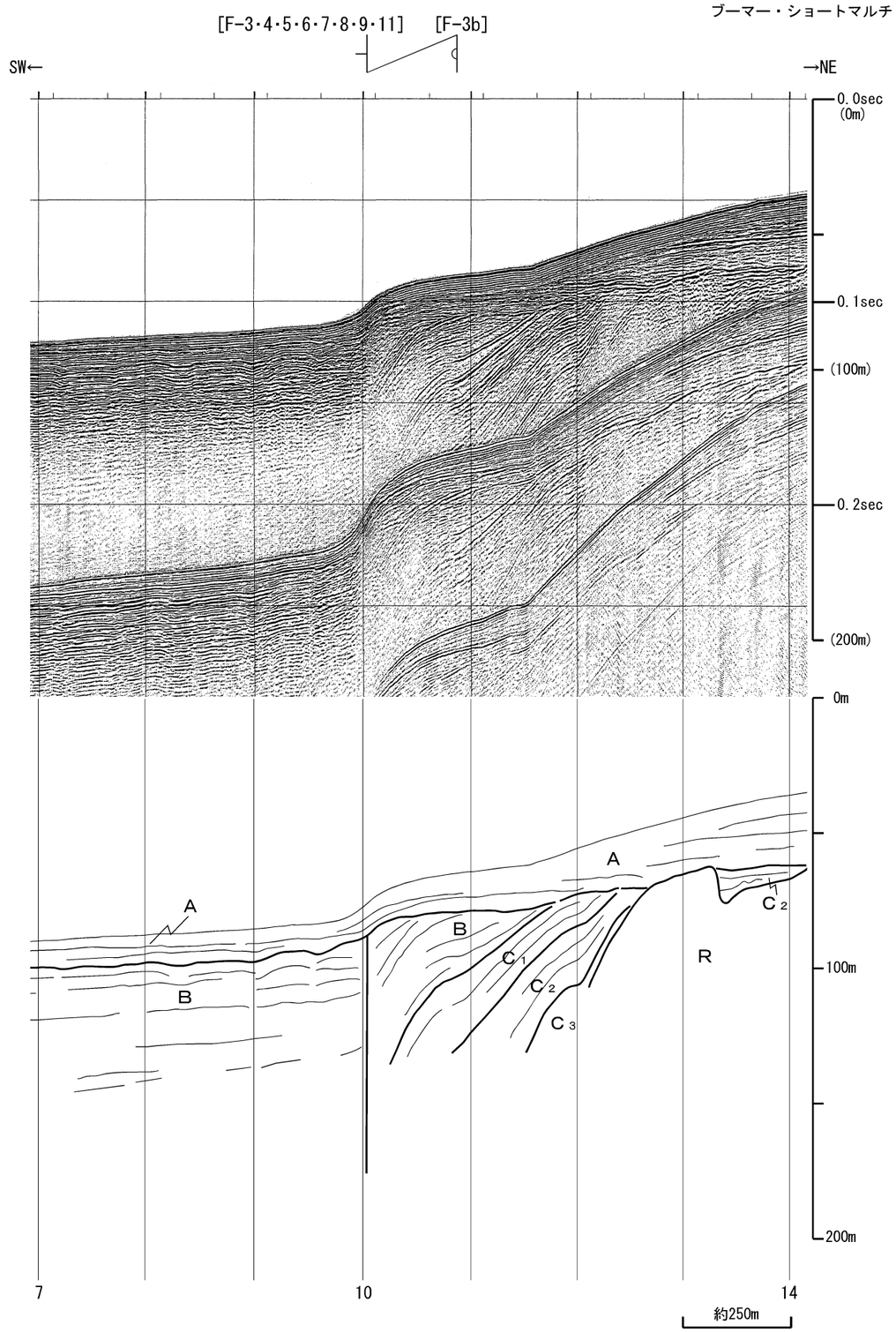


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(17)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWM14.5）

NBGM14.5
日本原電2005
ブーマー・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

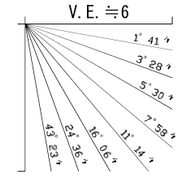
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

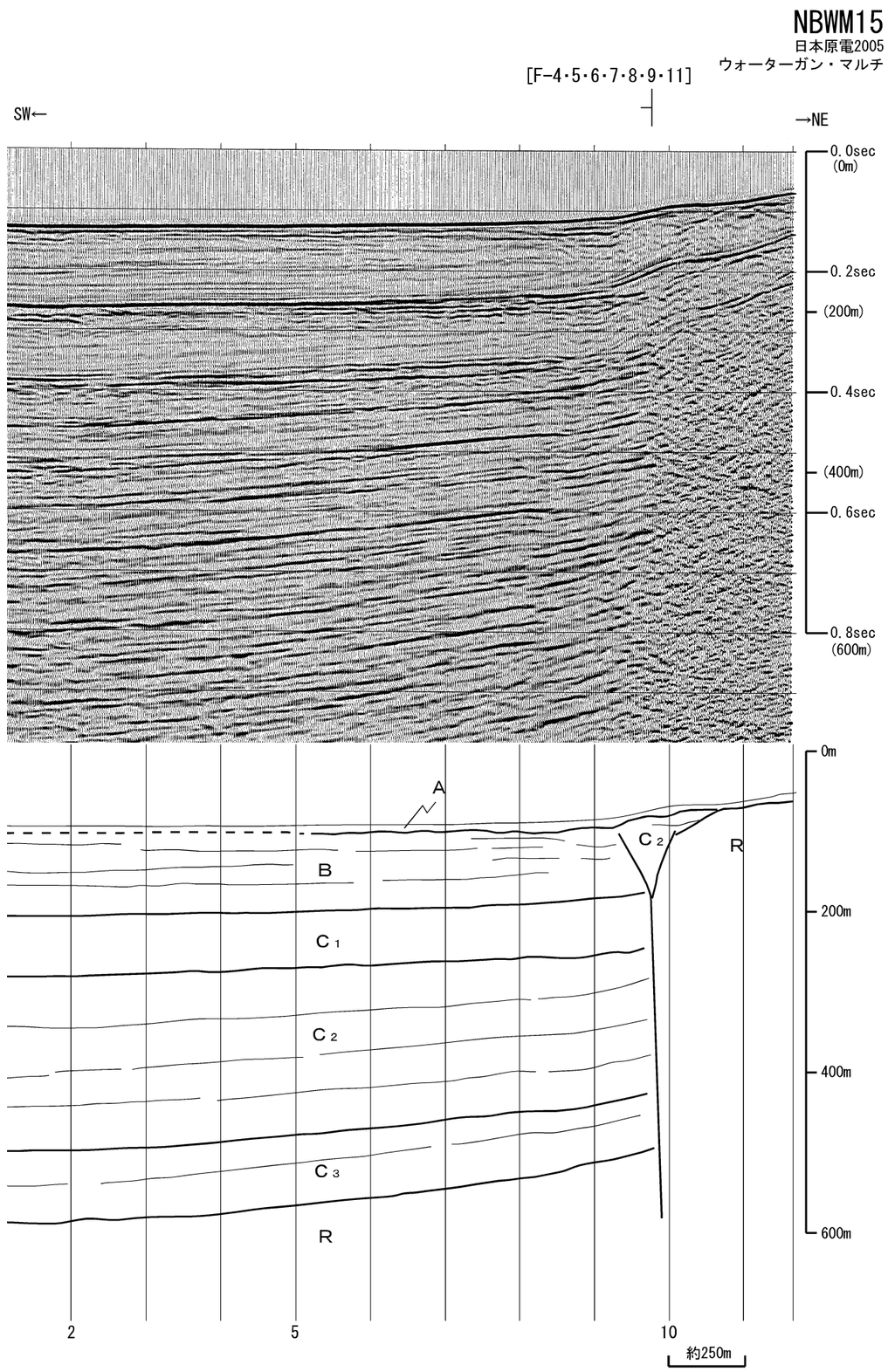
推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(18)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBGM14.5）



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

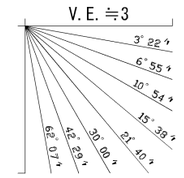
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



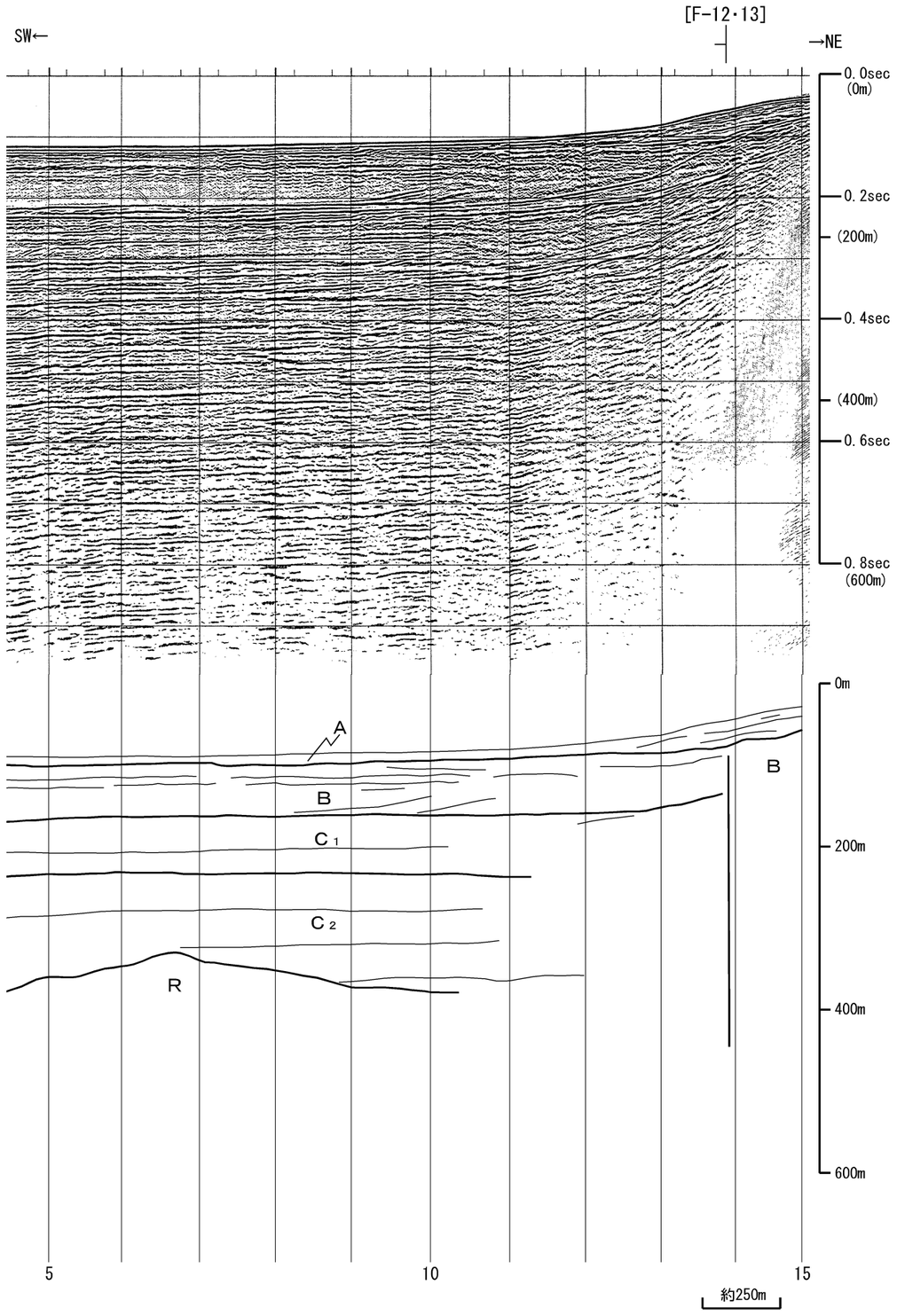
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(19)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWM15）

NBWMS17

日本原電2005
ウォーターガン・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

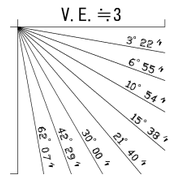
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

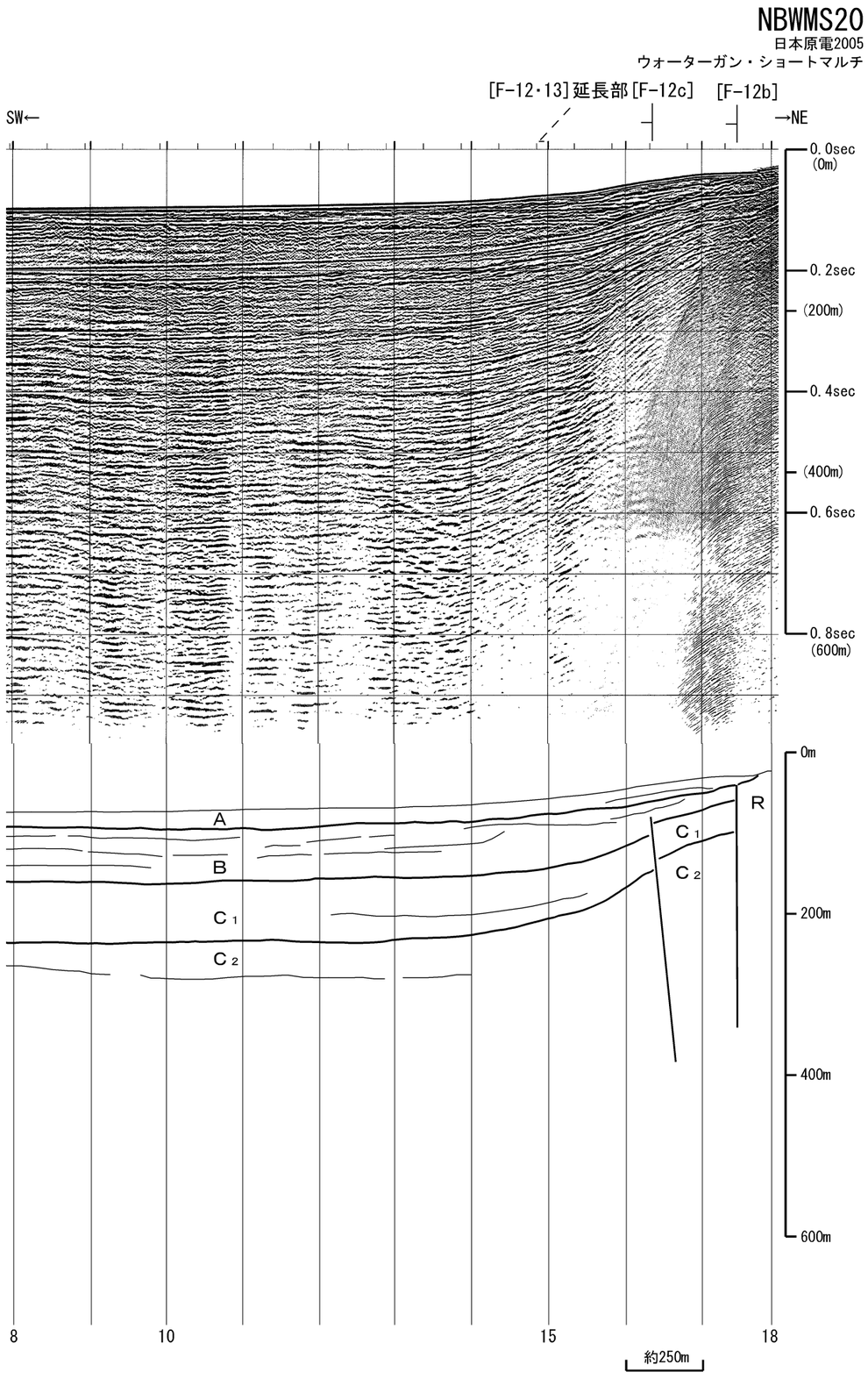
推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(20)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWMS17）



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

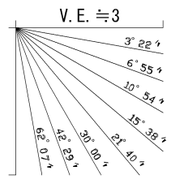
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

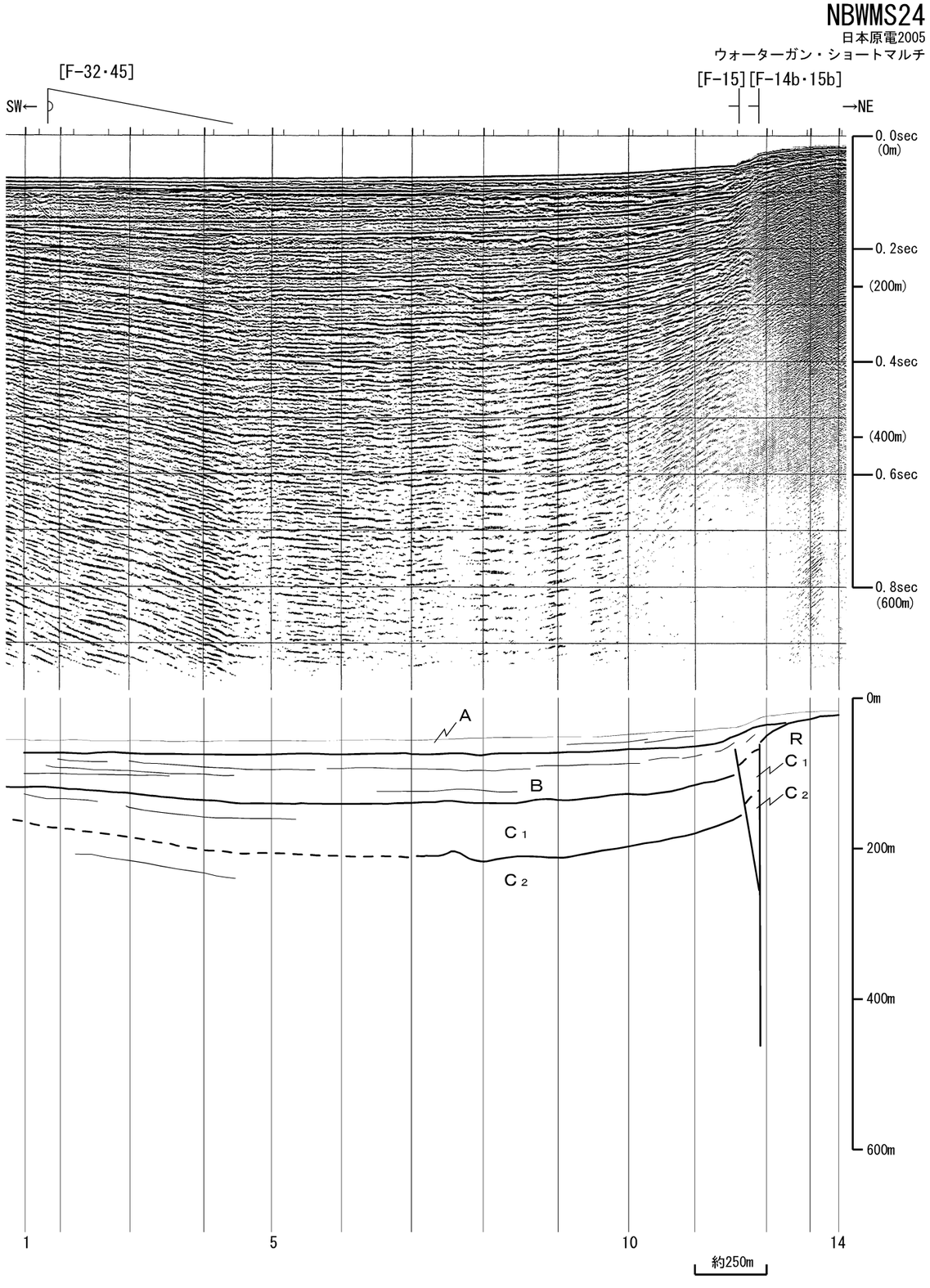
推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(21)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWMS20）



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 基部の延長位置 断層又は撓曲の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

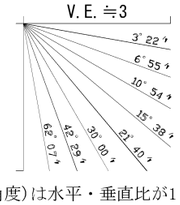
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

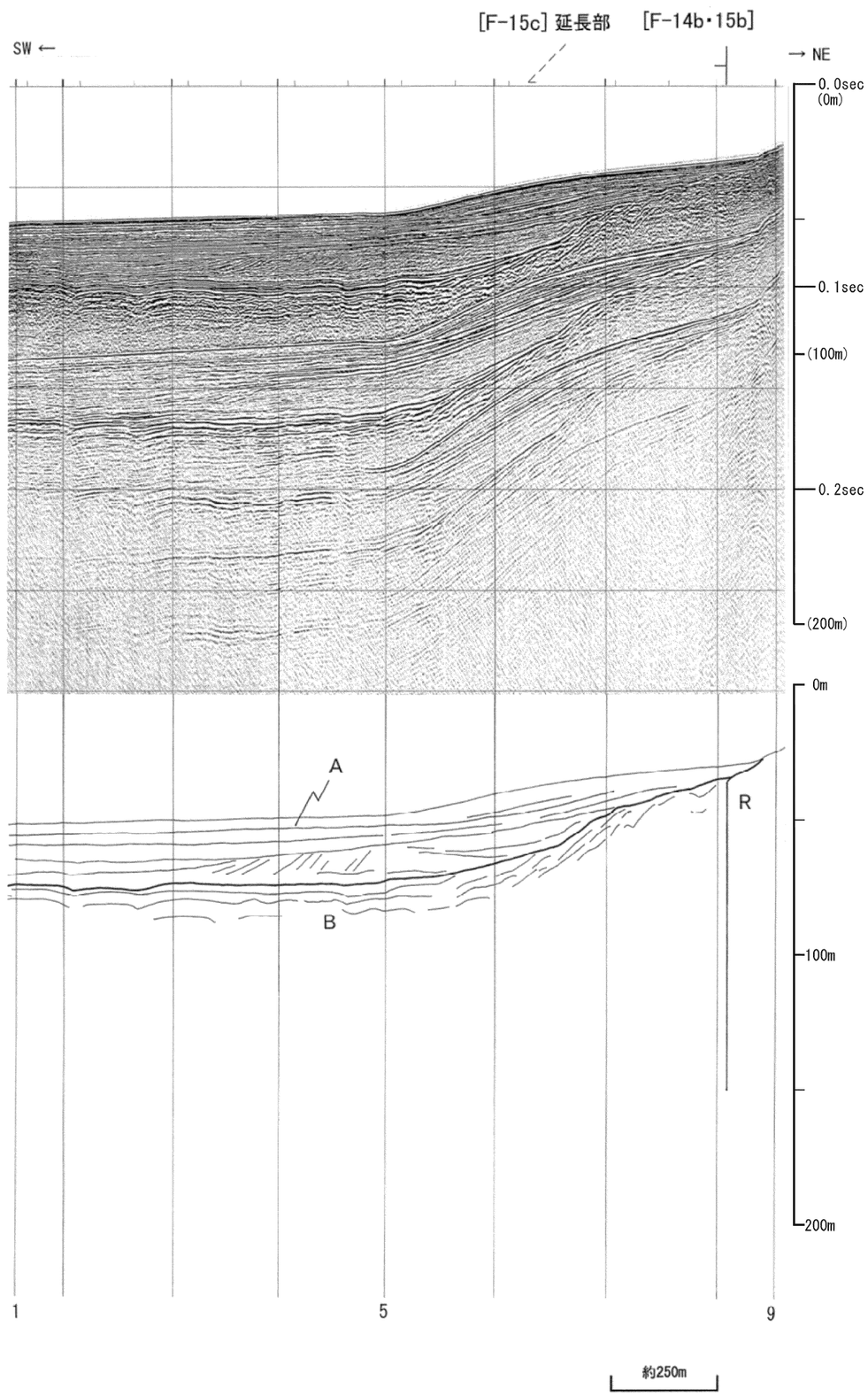


数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(22)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWMS24）

NBGM25
日本原電2005
ブーマ・ショートマルチ



凡　例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置
基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

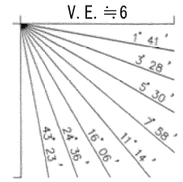
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

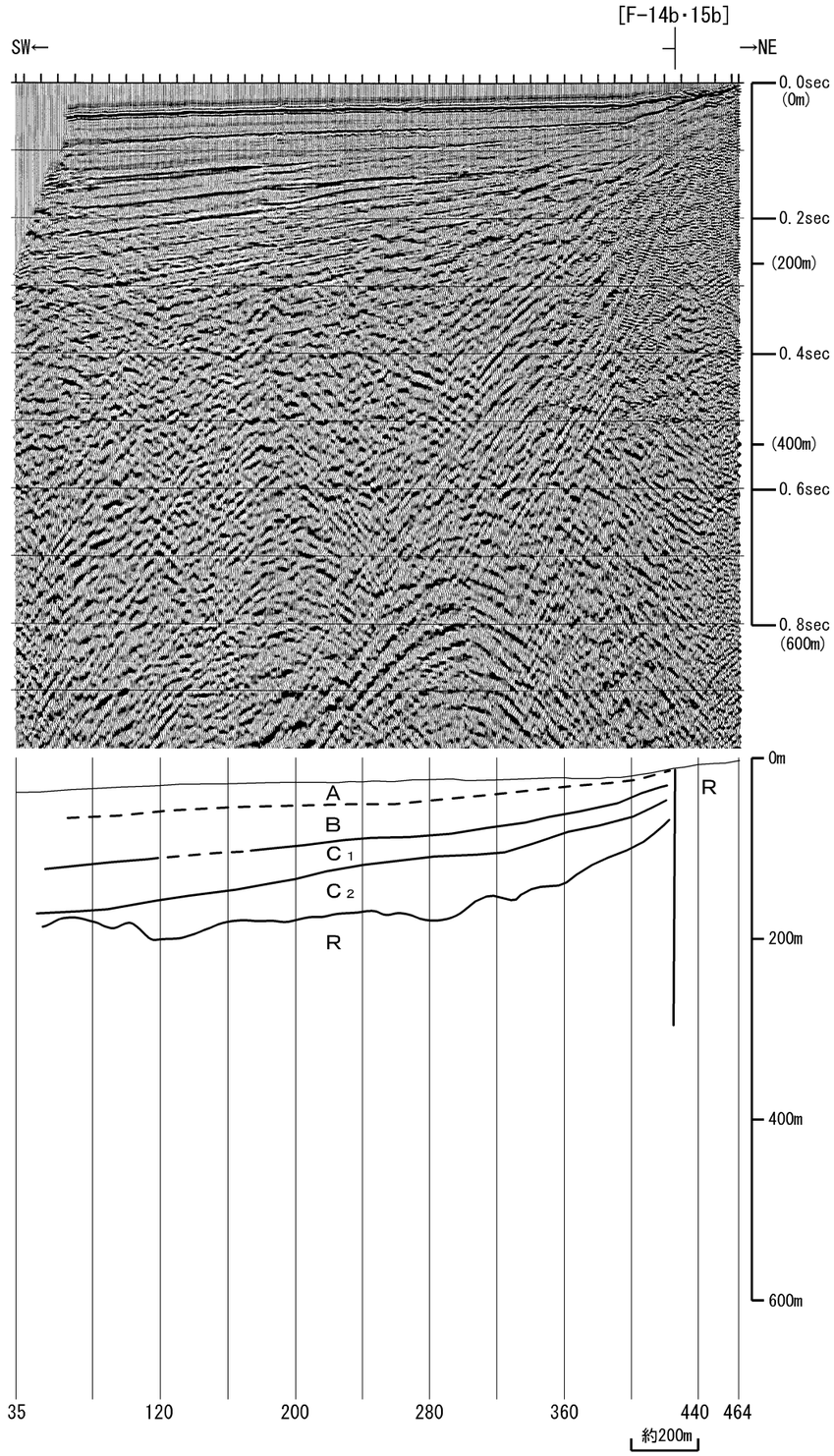
推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(23)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBGM25）



凡　例

[F-21]　断層及び断層番号

[F-2]　撓曲及び撓曲番号

基部　頂部　変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部　断層又は撓曲の延長位置

基部の延長位置

凡　例

A　A層　完新統

B　B層　上部更新統

C　C1 C2 C3 C4　C層　最上部鮮新統～中部更新統

D　D層　下部～上部鮮新統

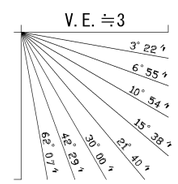
R　R層　先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界



数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第1.2.3.1.11図(24)　安島岬沖断層，和布－干飯崎沖断層，甲楽城断層の海上音波探査記録及び地質断面図（NBWB27）